

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-2	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.12.7	11:13	11:40	10.8	10.4	砂	7.5Y4/3	なし	1.1	>1.1

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.12.7		8.1	<0.5	1.4	10.3	4830	32.24	1.0	<1	0.5	0.0012	0.0091	0.00081

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
L-2	37.8155°	140.9763°	H29.12.7	11:40	7.7	264	24.6	1.4	1.4	2.673	0.0	1.5	48.8	45.1	2.9	1.7	0.25	2.0	3.4	29	N.D. (0.14)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H29.12.3	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.013	—	—	—	10	N.D. (2.8)	10	—	
				H29.12.7	藻類・植物	単子葉植物	イ ^ハ ヲモ	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	—	0.27	—	—	—	—	0.67	N.D. (0.58)	0.67	—
				H29.12.3	節足動物	軟甲	アミ	アミ	<i>Mysidae</i>	アミ科	—	0.29	成体	—	—	—	0.72	N.D. (0.32)	0.72	—
					節足動物	軟甲	エビ ^レ	テッポウエビ ^レ	<i>Alpheidae</i>	テッポウエビ科	37	0.038	未成体/成体	—	—	—	2.6	N.D. (1.4)	2.6	—
				H29.12.4	節足動物	軟甲	エビ ^レ	テナガ ^レ エビ ^レ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ	190	0.047	未成体/成体	—	—	—	1.9	N.D. (1.3)	1.9	—
					軟体動物	二枚貝	カキ	イホ ^レ ガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	13	0.31	成体	—	軟体部	0.68	N.D. (0.39)	0.68	—	
				H29.12.5	軟体動物	二枚貝	マルスガ ^レ レガ ^レ イ	マルスガ ^レ レガ ^レ イ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	50	0.26	成体	—	軟体部	N.D.	N.D. (0.48)	N.D. (0.57)	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ ^レ	アイメ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	2	0.11	未成魚	ゴ ^レ カイ類、エビ ^レ 類	内臓除去	1.2	N.D. (0.59)	1.2	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。